

午後3時30分開会

【坂本局長】

それでは、これより第3回目になります東京都エネルギー問題アドバイザリーボードを開会いたします。

私は、東京都産業労働局長の坂本でございます。議事が始まりますまでの間、進行役を務めます。何とぞよろしくお願いいたします。

今回、オンラインでのご出席の委員の方も含めまして、6名の委員の皆様にご出席を賜っております。なお、岩船委員は途中からオンラインにて御参加をいただく予定となっております。また、本日は、オブザーバーとして、資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部水素・アンモニア課長、日野由香里様にもお越しをいただいております。ありがとうございます。

それでは初めに、小池知事からご挨拶をいただくことができればと思います。よろしくお願いいたします。

【小池知事】

本日は、第3回となりますエネルギー問題アドバイザリーボード、お忙しいところのご出席、誠にありがとうございます。オンラインでのご参加、誠にありがとうございます。

前回、第2回の会議におきましては、今後の電力、そしてまた熱エネルギーの効率的な活用、水素の利用推進などに関して多面的なご意見を賜ったところでございます。また、国のほうから水素政策の基本的な方向性についてのお話をいただきました。ありがとうございます。

エネルギー利用のあり方、そして、地球環境保全の両立について、国際社会の意識は、この夏の暑さだけを取り上げても仕方がないのですが、マドリッド39度とか、ローマ40度とか、何かたがが外れたような、もしくは、これまでと少しフェーズが変わってきたのかなという肌感覚でありますけれども、世界中で何かがおかしいなと感じている人は多いかと思えます。それを一瞬のこととして見るのか、これからの傾向として見るのか、私たちの生活をどうやって守っていくのか、産業をどうやってサステインしていくのか、課題は極めて大きいものがございます。

そして、エネルギー問題については全ての基本と言っても良いかと思えますが、そういう中で、ゼロエミッションに向けた再生可能エネルギーの普及の拡大、そして、電力の安定確保、都民、事業者の皆様との連携、協力、幾つかの項目がございませけれども、しかし、何よりも前へ進めていかなければなりません。

例えば課題となっておりますのが、太陽光の発電でも出力を制御されるとなると、進めるのがいいのかなどなのか、そういった躊躇が出てきたりいたしますし、このような課題をどう解決して、より有効にエネルギーを確保し、活かしていくのか、蓄電池の状況はどうか、水素への転換をどうしていくのか、課題は山積をいたしておりますが、東京都としてこれまでもいろいろとチャレンジをしてきた、そしてまた、経済、産業の両面を見ましても、また、人口を見ましても最大のエネルギー消費地でもございます。

そういう中で、いろいろと課題を整理しながら進めてきたわけですが、これまで水素の活用については、モビリティの分野、そして、この東京都が大きな需要地としての国の戦略も踏まえましてどのようにアクションを起こしていくのか、それらについて皆様方のご意見、アドバイスを頂戴したいということでございます。

本日は、エネルギー需給、そして水素の利用に関して、国との連携も含めまして具体的な取組の進め方を幅広く論じていただければと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございます。

【坂本局長】

小池知事、ありがとうございました。

本日も委員の皆様のご協力をいただき、実りある議論を行いたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。

知事は、この後、公務がございませますので、ここで退席をさせていただきます。

【小池知事】

よろしくお願いいたします。

(知事退室)

【坂本局長】

また、報道関係の方におかれましても、事前にご案内をしておりますとおり、公開はここまでということでございます。こちらで報道関係の方、ご退室をお願いいたします。

(プレス退席)